20　　 年　　月　　日

**合算使用（共同設備購入）届出書**

　　帝京大学学長　　殿

（研究代表者）

所　　属　　帝京大学　　　　学部

職　　名

氏　　名　　　　　　　　　　　　　㊞

以下のとおり、科学研究費助成事業による複数研究課題の合算使用を届け出ます。

（要件を満たしていれば☑をつけてください。）

　合算使用を行う各研究課題の研究遂行に支障を来さない

　各経費を支出する補助事業者（研究代表者又は 研究分担者）が同一の研究機関に所属している

１．合算使用対象

２．合計金額　　　　　　　　　　　　円

３．充当する経費及び負担率

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | 所属  職名・氏名 | 充当する経費  （研究種目・課題番号） | 研究期間 | 負担額  （負担率） | 同意欄  (確認印) |
|  |  |  |  | 円  （　　　％） | ㊞ |
|  |  |  |  | 円  （　　　％） | ㊞ |
|  |  |  |  | 円  （　　　％） | ㊞ |
|  |  |  |  | 円  （　　　％） | ㊞ |

４．負担率算出根拠

　　５．必要理由

20　　 年　　月　　日

**記 入 例１**

**合算使用（共同設備購入）届出書**

　　帝京大学学長

（研究代表者）

所　　属　　帝京大学　医療技術学部

職　　名　　教授

氏　　名　　〇〇　〇〇　　　　　　　　㊞

以下のとおり、科学研究費助成事業による複数研究課題の合算使用を届け出ます。

（要件を満たしていれば☑をつけてください。）

☑ 合算使用を行う各研究課題の研究遂行に支障を来さない

☑ 各経費を支出する補助事業者（研究代表者又は 研究分担者）が同一の研究機関に所属している

1. 合算使用対象

〇〇システム利用料

２．合計金額　　30,000円

３．充当する経費及び負担率

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | 所属  職名・氏名 | 充当する経費  （研究種目・課題番号） | 研究期間 | 負担額  （負担率） | 同意欄  (確認印) |
|  | 医療技術学部  教授・〇〇　〇〇 | 基盤研究（C）  20K11111 | 2020～2022 | 15,000円  （　50　％） | ㊞ |
|  | 医学部  講師・△△　△△ | 若手研究  19K22222 | 2019～2021 | 15,000円  （　50　％） | ㊞ |
|  |  |  |  | 円  （　　　％） | ㊞ |
|  |  |  |  | 円  （　　　％） | ㊞ |

４．負担率算出根拠

システムを利用する頻度は2課題とも同じ程度であるため、要する経費については，共同購入課題で等分に経費を負担する。

1. 各研究課題について合算使用対象の使用割合(見込)により区分できる場合には、各々の負担額の割合を「使用割合(見込)による按分」により算出する。
2. 各研究課題において、合算使用対象の「使用する権利」を購入するとの考えに基づき、各々の負担額の割合を

「各研究課題数による等分」により算出する。

1. 各研究課題において、合算使用対象の「使用する権利」を購入するとの考えに基づき、各々の負担額の割合を

「各研究課題の事業期間(見込)による按分」により算出する。

５．必要理由

〇〇実験に使用するシステムで、①、②ともに同様のシステムを使用することから補助金を有効に活用することが可能となるため。

20　　 年　　月　　日

**記 入 例２**

**合算使用（共同設備購入）届出書**

　　帝京大学学長

（研究代表者）

所　　属　　帝京大学　医療技術学部

職　　名　　教授

氏　　名　　〇〇　〇〇　　　　　　　　㊞

以下のとおり、科学研究費助成事業による複数研究課題の合算使用を届け出ます。

（要件を満たしていれば☑をつけてください。）

☑ 合算使用を行う各研究課題の研究遂行に支障を来さない

☑ 各経費を支出する補助事業者（研究代表者又は 研究分担者）が同一の研究機関に所属している

1. 合算使用対象

〇〇システム一式

２．合計金額　　30,000円

３．充当する経費及び負担率

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | 所属  職名・氏名 | 充当する経費  （研究種目・課題番号） | 研究期間 | 負担額  （負担率） | 同意欄  (確認印) |
|  | 医療技術学部  教授・〇〇　〇〇 | 基盤研究（C）  20K11111 | 2020～2022 | 600,000円  （　60　％） | ㊞ |
|  | 医学部  講師・△△　△△ | 若手研究  19K22222 | 2019～2021 | 300,000円  （　30　％） | ㊞ |
|  | 医学部  助教・■■　■■ | 若手研究  20K33333 | 2020～2021 | 100,000円  （　10　％） | ㊞ |
|  |  |  |  | 円  （　　　％） | ㊞ |

４．負担率算出根拠

現在のところ、課題予定年間使用日数は①60日、②30日、③10日程度と見込まれている。これにより按分すると負担率は①60％、②30％、③10％を負担することが妥当と判断される。

1. 各研究課題について共同設備の使用割合（見込）により区分できる場合には、各補助事業者の負担額の割合を「使用割合（見込）による按分」により算出する。
2. 各研究課題において、「共用設備を使用する権利」を購入するとの考えに基づき、各補助事業者の負担額の割合を「研究課題数による等分」により算出する。

５．必要理由

共同購入を行うことにより当初予定していた設備よりも上位機種が可能となり、本共同設備を導入することにより各研究課題の一層の深化が可能となる。また、類似した設備を重複して調達することがなくなるため、設備の稼働率が向上し有効活用が見込まれ、更に研究課題の補助金を有効に活用することが可能となるため。